

日本とロシアとの間では、昭和 59 年(1984 年)12 月に成立した「地先沖合漁業協定」に基づき、毎年、操業条件について日口漁業委員会が決定し、相手国 200 海里水域内に入漁しています。

平成 25 年 11 月の日口漁業委員会第 30 回会議では、日口の密漁防止対策の進展や、ロシア水域内の水産資源が回復傾向にあることを背景に、ロシア 200 海里水域での相互入漁枠の大幅な増加が認められるなど、最終的に 7 万 1303 トンの漁獲割当量を確保しています。

(1) 合意内容

① ロシア 200 海里水域における日本漁船の操業条件等

ア. 相互入漁

区分	H22	H23	H24	H25	H26
総漁獲割当量	51,945t	51,355t	51,355t	62,096t	71,303t
総隻数	546 隻	546 隻	546 隻	546 隻	546 隻

イ. 有償入漁

区分	H22	H23	H24	H25	H26
総漁獲割当量	5,098t	5,098t	5,098t	5,098t	4,998t
総隻数	45 隻	45 隻	45 隻	45 隻	45 隻
入漁料	2 億 722 万円	2 億 1148 万円	2 億 1148 万円	2 億 1148 万円	2 億 1148 万円

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚種	平成 24 年(2012 年)		平成 25 年(2013 年)		平成 26 年(2014 年)	
	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁	相互入漁	有償入漁
スケトウダラ	4,752t	3,000t	10,126t	3,000t	10,126.0t	2,900.0t
マダラ	537t	190t	821t	190t	821.5t	190.0t
サンマ	35,850t	-	41,370t	-	51,370.0t	-
イカ	8,390t	580t	8,010t	580t	7,217.0t	580.0t
その他	1,826t	1,328t	1,769t	1,328t	1,768.5t	1,328.0t
計	51,355t	5,098t	62,096t	5,098t	71,303.0t	4,998.0t
	56,453t		67,194t		76,301.0t	

② 日本 200 海里水域におけるロシア漁船の操業条件等

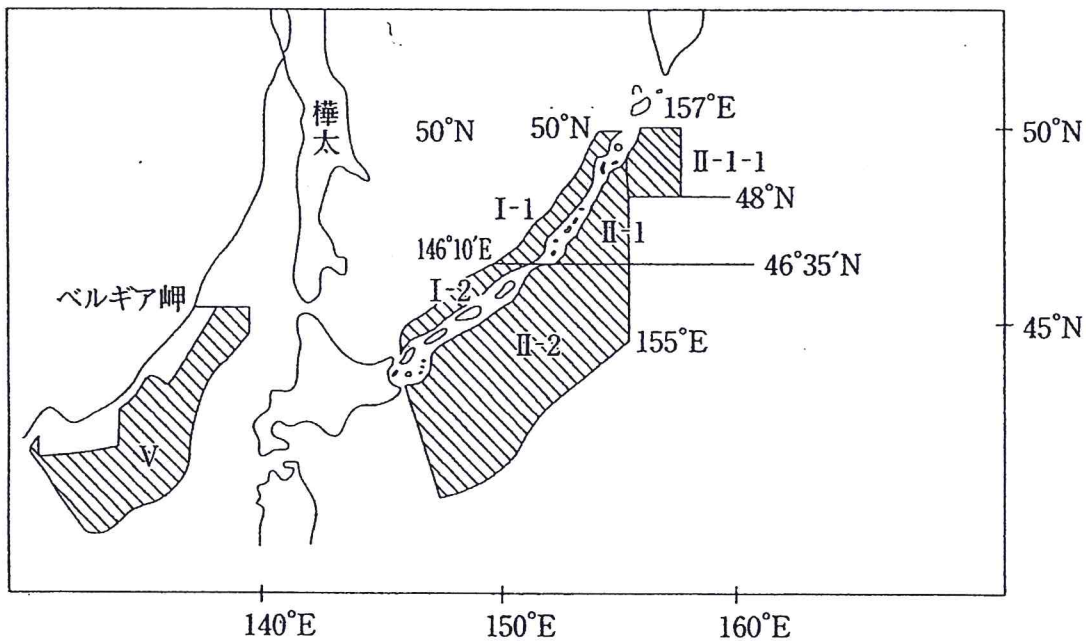
ア. 相互入漁

区分	H22	H23	H24	H25	H26
総漁獲割当量	51,945t	51,355t	51,355t	62,096t	71,303t
総隻数	101 隻	101 隻	101 隻	101 隻	101 隻

<主な魚種別の漁獲割当量>

魚種	平成 24 年(2012 年)	平成 25 年(2013 年)	平成 26 年(2014 年)
イワシ・サバ	10,752t	13,296t	13,296t
イトヒキダラ	27,800t	27,800t	27,800t
サンマ	12,803t	21,000t	30,207t
その他	-	-	-
計	51,355t	62,096t	71,303t

(2) 日口地先沖合漁業交渉操業海域図



○ 相互入漁水域		
I-1区	千島（オホーツク海側北）	底はえ縄
I-2区	千島（オホーツク海側南）	底はえ縄
II-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、底はえ縄、棒受け網
II-1-1区	千島（太平洋側北）	中層トロール、着底トロール、底はえ縄
II-2区	千島（太平洋側南）	底はえ縄、棒受け網
V区	日本海	いか釣り
○ 有償入漁水域		
II-2区	千島（太平洋側南）	着底トロール、中層トロール

資料：北海道水産林務部漁業指導課

注：II-1、II-1-1、の中層トロール・着底トロールは、遠洋底びき網、
II-2の着底トロール・中層トロールは、沖合底びき網